

□議員名：矢田松夫

## 1 市長の言動について

論点	市広報の市長メッセージを、市民が見て理解、期待する紙面にすべきではないか。感情先行の内容となっている。
回答	給食センターの建設については過程であり、結論が出れば記載をする。病院建設費が「ほぼ予定に近い金額で仕上げた」との記事は、評価が甘かった。

論点	市長交際費について、本年4月1日から支出基準を改定された意図・目的を答えよ。
回答	市民の声として飲食があった場合「なにも持ってこないのか」との批判の声があったので、社会通念上妥当と認められる範囲で支出することとなった。

## 2 特別支援教育の充実について

論点	特別な教育を必要としている児童に対して、現状を改善し、個別の指導計画に基づき対応すべきではないのか。
回答	全教員の特別支援教育実践に係る資質向上に努めている。さらに、知的障害のある子供については、県教委の協力を得ながら本年度は、小野他地区小中学校においても、知的障害学級を設置する。

論点	厚狭小学校における通級指導教室の現状を改善すべきではないか。
回答	指導委員の増員については、要求はしているものの、かなわない状況だ。解決方法について悩んでいる。